



穿角壬戌之事情

早稲田大学図書館
文書27
B 63



皇國とては親

明治廿二年六月十日

本由親権と論議者事及不

大田之始為京都の出々、又久元年酉年 和宮出東

下之故あり

此所公武之確執甚し、皇妹多ト、今作之者之立

カトト之故あり

此所長州方已、海浪飛來、京都標家國、白きも出力を

為す、儲越、身林、別ら、い、如、建、の、を、な、り、し、

ゆ、く、し、し、も、久、二、年、成、り、し、り、を、少、を、利、大、後、大、又、幕、府

の、開、演、之、建、白、あり、續、多、長、州、を、治、永、并、種、地、未、建、皇、

其、趣、に、當、り、正、し、し、を、弟、を、攝、政、を、議、論、多、を、皇、東

と、確、執、を、全、じ、皇、國、と、て、親、と、し、皇、女、今、子、和、親

申火子、こゝに斗ふた子、三海、後印、つら子
 ぐ、浪水、中、海、振、雲、と、ぐ、る、外、地、を、相、可、し、け
 危、に、任、任、中、ま、う、と
 是、も、い、ち、あ、り、し、に、説、話、を、さ、く
 三、子、を、つ、ら、り、し、に、輔、足

廿九年六月二日 於 浪 頃

野島山人

Handwritten text in vertical columns, likely a signature or name.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference.